

「復興農学会」事務局会議（第32回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年4月26日（月）17時40分～18時25分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 研究会・シンポジウム等の開催について（新田）

新田より昨年度開催された本会議で、本学会の講演会・研究会・シンポジウム等を開催し、学会誌の発行と日本農学会への入会について記者発表することについて継続審議となっていたことが照会された。また、現在復興庁で検討中の「国際教育研究拠点」に関する情報共有と意見交換をしてはどうか、さらには、復興庁の動きや意向を踏まえて開催を決定してはどうか等の意見があったことも加えて照会された。

審議の結果、以下のようにシンポジウム・記者発表を開催すること等が了承された。なお、下記のうち総会にかかる部分は、本会議後、新田が加筆した。

シンポジウム・記者発表・総会の開催について

震災・原子力災害から10年が経過し、復興農学会が設立1周年を迎えたことを契機に以下のように開催する。「国際教育研究拠点」設置にかかる情報共有・発信と意見交換も行う。

1. 日時 2021年6月26日（土）13時00分から

2. 場所・方法 Web

3. 内容

- (1) シンポジウム
- (2) 記者発表
- (3) 総会

- ・今回は一般講演等は実施しない。
- ・詳細については原案を福島大学で検討し、メールで審議して決定する。
- ・他学会、日本農学会等への「共催」、「後援」等を検討する。また、その依頼のための様式は福島大学で検討する。

2. 今後の事務局会議の開催について（新田）

新田より、本会議の今後の開催日について、過日、メンバーに意見を聴取した結果、下記のように集約されたことが報告され、確認された。

・次回（第33回）

日時 2021年5月26日（水）17時30分から（1時間程度）

・次々回以降（第34回以降）

日時 各月の第4水曜日の17時30分から（1時間程度）

3. 学会誌関係について（横山）

横山 客員教授より学会誌第1巻第2号の編集について、現在、原著論文の投稿を受け付けており（締め切り6月末）、積極的に投稿いただくよう依頼があった。また、同号には、6月26日に開催するシンポジウムに関する記事を掲載する予定であることが確認された。

黒瀧 教授より、東京農業大学 元副学長に総説の執筆・投稿を依頼してはどうかとの提案があり了承された。黒瀧 教授より同元副学長に依頼することとなった。また、東京農業大学編「東日本大震災からの農業復興支援モデル—東京農業大学10年の軌跡—」（ぎょうせい）についての「書評」執筆の提案があり、新田が執筆し投稿することが了承された。

石井 准教授より、市町村の首長のインタビュー記事の編集状況について報告があった。ライターの本間氏より体裁についての問合せがあったが、各首長の発言やその意図等を生かした形態とし、市町村間で統一する必要はないことが確認された。今後は、本間氏が編集を進め、首長および担当教員に原稿を確認してもらい進めることが確認された。

4. その他

なし

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第33回） 2021年5月26日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用